

職場 紹介

技術を磨く。夢を叶える。
あなたの笑顔をまっています。

●作業療法士



作成 国立病院理学療法士協議会中国四国部会
国立病院作業療法士協議会中国四国グループ部会
国立病院言語聴覚士協議会中国四国グループ部会

中国四国グループ関連病院・施設の紹介

ページ



鳥取県

- 鳥取医療センター 3
- 米子医療センター 5



島根県

- 松江医療センター 7
- 浜田医療センター 9



岡山県

- 岡山医療センター 11
- 南岡山医療センター 13
- 長島愛生園 15
- 邑久光明園 17



広島県

- 呉医療センター 19
- 福山医療センター 21
- 広島西医療センター 23
- 東広島医療センター 25
- 賀茂精神医療センター 27



山口県

- 関門医療センター 29
- 山口宇部医療センター 31
- 岩国医療センター 33
- 柳井医療センター 35



徳島県

- とくしま医療センター東病院 37
- とくしま医療センター西病院 39



香川県

- 高松医療センター 41
- 四国こどもとおとなの医療センター 43
- 大島青松園 45



愛媛県

- 四国がんセンター 47
- 愛媛医療センター 49



高知県

- 高知病院 51



鳥取医療センター

対象病期

高度急性期

急性期



回復期



長期療養



対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器

心臓

がん



神経難病



重症心身障害



発達障害



精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 精神疾患医療の中核施設
- 2 神経難病・重症心身障害に対応
- 3 パーキンソン病センターを設置

鳥取県東部を診療圏とする精神疾患に関する中心的施設であるとともに、神経・筋疾患、呼吸器疾患、重症心身障害に対する専門的医療機能を備えた医療機関です。地域医療では、回復期リハビリテーションや認知症診療に力を入れており、近年は「パーキンソン病センター」を開設し、県内外の患者さんに専門的な医療を提供しています。

リハビリストッフ



PT 20名



OT 23名



ST 8名

回復期から維持期まで幅広い分野のリハビリテーションを経験できます。多職種連携を重視し、「患者ファースト」の精神で診療に取り組んでいます。また、症例発表や勉強会、資格取得支援など教育体制も充実しており、専門性を高めながら成長できる環境です。

(職場長より)

アクセス

〒689-0203

鳥取県鳥取市三津876



☎ 0857-59-1111 (代)

リハビリテーション科

理学療法士長・作業療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

■**身障部門**：回復期チーム／脳血管障害や整形疾患（下肢骨折、頸椎症等）を対象に、自宅復帰に向けたリハビリテーションを行っています。難病チーム／パーキンソン病、ALSなどを中心に、長期療養入院から短期集中リハビリテーション入院までサポートしています。重症心身障害チーム／重症心身障害児(者)に対しては、遊びを通して個性や主体性を発揮できるよう取り組んでいます。

■**精神部門**：閉鎖病棟(急性期・慢性期)、医療観察法病棟、認知症病棟、精神科デイケアと、幅広い領域で作業療法を実施しています。その人らしさを尊重した、その人らしい生活の実現に向け「共に一歩歩みだす」を理念として取り組んでいます。



※写真㊤VR治療機器であるmediVRKAGURA®

※写真㊦ドライビングシュミレーターを用いた注意、判断、危険予測の評価

※写真㊧MR治療機器リハまる®

教育体制・学術活動

新人教育プログラムは、リハビリテーション科共通のものに加え、作業療法部門独自のプログラムも整備しています。また、パーキンソン病の運動療法を専門的に行うLSVT® BIGや3学会合同呼吸療法認定士など、各種資格取得を支援しています。

学会発表:令和7年度_3件

学術誌掲載:1件

先輩からのメッセージ

当院では多様な分野のリハビリを提供しています。昨今、様々な治療が展開されている中、当院においてはVR治療機器やMR治療機器を導入しており、日々の臨床を通して多くの知識や技術を身につけることができます。また、新人教育プログラムや定期的な勉強会も充実しており、先輩スタッフに相談しやすい環境が整っているため、安心して成長していくことができる環境だと思います。(入職4年目)





米子医療センター

対象病期

高度急性期

急性期



回復期

長期療養



対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器

心臓



がん

神経難病

重症心身障害

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 整形外科から内部疾患まで幅広く対応
- 2 がん・緩和ケア患者にもリハビリ提供
- 3 土日祝も継続したリハビリを実施

整形外科（上下肢・手指の骨折、人工関節、靱帯損傷等）呼吸器・循環器の内部疾患、がん（周術期含む）、緩和ケア病棟患者も含め、様々な疾患を対象としています。令和6年12月より地域包括医療病棟の導入にともない、土日祝～長期休暇でも一定の患者さんに対してリハビリを提供しています。

リハビリスタッフ



PT 11名



OT 4名



ST 2名

(未配置)

スタッフ同士で相談・協力しあってリハビリ部門を盛り上げていけるよう、1人1人が声掛けしあえる雰囲気づくりを目指しています。個々の能力を高めていくことも必要ですが、組織としてスタッフが支え合うシステム作りを考えています。（職場長より）

アクセス

〒683-0006

鳥取県米子市車尾4-17-1

☎ 0859-33-7111（代）

リハビリテーション科
理学療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

当院では、整形外科手術が毎週行われており、リハビリテーション科では主に術後急性期のリハビリテーションを担当しています。特に作業療法部門では、手の外科専門医がリハビリテーション科医長を兼任しており、手の外科領域のリハビリテーションに力を入れています。医師主催の勉強会やスプリント研修、手術見学など学習機会も充実しています。また、大腸がんや乳がん術後の廃用予防、COPD・肺炎などの呼吸器疾患、幹細胞センターでのADL維持支援など、幅広い疾患の患者さんに関わっています。



教育体制・学術活動

新人教育プログラムに沿って段階的に指導を行っています。作業療法士だけでなく理学療法士とも気軽に相談でき、職種の垣根を越えて学べる環境です。また、週に複数回、医師を含めたカンファレンスや回診が行われており、多職種との連携も活発です。リハビリテーション科内では月1回の勉強会を開催し、症例報告を通じて知識や技術を共有しています。さらに、日本ハンドセラピィ学会認定資格の取得支援実績もあり、専門性を高められる環境が整っています。

学会発表:令和7年度_0件

個々のペースに合わせて学会参加や学会発表を行っています。発表にあたっては、必要に応じて医師の協力を得ながら進めており、他部門と連携して共同研究に取り組んだ実績もあります。認定資格など:3学会合同呼吸療法認定士2名、認知症ケア専門士1名、地域糖尿病療養指導士1名、がんリハビリテーション研修修了者3名、SW-test講習会受講修了者3名、臨床実習指導者講習会修了者3名、緩和ケア研修会修了者2名

多職種連携

医師、病棟看護師、専門看護師をはじめ、多職種と日常的に連携しながら患者さんを支援しています。退院支援ではメディカルソーシャルワーカーと協力し、必要に応じて退院前カンファレンスへ参加、ケアマネジャーや在宅支援スタッフとも情報共有を行います。糖尿病教室や呼吸器勉強会、市民講演会などにも積極的に参加しています。

先輩からのメッセージ

当院は、急性期医療の提供を担っており、急性期リハビリテーションに対して不安や怖さもあるかと思います。入退院の回転も早く、慌ただしい毎日ではありますが、様々な疾患を経験することができるのが、魅力の一つです。日々勉強、勉強で分からないことも沢山ありますが、OT・PT問わず様々な分野でのスペシャリストである先輩方が的確に指導してくださるので安心してください。職場の雰囲気としても職種の隔たりなく、リハビリテーション科全体として明るい職場です。



対象病期

高度急性期

急性期

回復期



長期療養



対象疾患

脳血管障害

運動器



呼吸器



心臓



がん



神経難病



重症心身障害



発達障害



精神科

ハンセン病遺言

当院の特徴

- 1 呼吸器センターとしての高度な診療
- 2 神経難病拠点病院としての役割
- 3 重症心身障害医療への対応

島根県～鳥取県西部を診療圏とし、呼吸器疾患・神経筋疾患・重症心身障害医療の3分野を専門とする医療機関です。地域の「呼吸器病センター」として高度な診療を担うほか、神経難病分野では島根県の難病診療分野別拠点病院（神経）として、専門性の高い医療を提供しています。

リハビリスタッフ



PT 10 名



OT 5 名



ST 3 名

「ともに考え、ともに成長する」ことを大切に、医療者・組織人として成長できる環境を整えています。ワークライフバランスを重視し、互いに支え合えるチームワークの良い職場づくりを目指しています。（職場長より）

アクセス

〒690-8556 島根県松江市上乃木
5-8-31



0852-21-6131 (代)

リハビリテーション科
理学療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

当院の作業療法では、神経難病、呼吸器疾患、重症心身障害を中心に、専門的なリハビリテーションを提供しています。パーキンソン病関連疾患に対する短期集中リハビリテーションや、ALSなど進行性神経難病患者の意思伝達支援、作業活動支援を通じて、機能やADL、QOLの維持・向上を図っています。呼吸器疾患では在宅復帰を見据えた支援を行い、発達障害分野では遊びや学習を通じた発達支援にも取り組んでいます。



出典：Creat

意思伝達装置「視線入力装置」



教育体制・学術活動

新人教育プログラムでは、理学療法部門と共通してOSCEを導入し、入職後から臨床につなげられるようサポート体制を整えています。また、指導者や相談しやすい療法士を配置し、安心して日々の業務に取り組める環境を整備しています。入職後数か月間は、指導者による密なフィードバックを行い、着実な成長を支援しています。

学会発表：令和7年度 2件

院外での講師：3件

呼吸器疾患、神経難病の中核病院として3学会合同呼吸療法認定士のポイントが取得できるセミナーや神経難病支援にかかる講演会などに関わっています。

多職種連携

入院から退院までの間、医師・看護師・薬剤師・メディカルソーシャルワーカーなどの多職種による定期的なカンファレンスを行っています。カンファレンスを通して、退院前訪問や家族指導などを実施し、安心して在宅生活へ移行できるよう支援しています。

先輩からのメッセージ

当院の作業療法業務は、ADL訓練・退院時指導・コミュニケーションの代替え訓練等、多岐にわたります。生活背景と関連付けたアセスメントを行い、退院支援を行っています。その中で難しさを感じていますが、経験豊富な先輩方に指導や助言をいただきながら日々成長することができ、やりがいも感じています。（入職4年目）



対象病期

高度急性期

急性期



回復期



長期療養



対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器



心臓



がん



神経難病

重症心身障害

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 県西部唯一の三次救急対応
- 2 急性期から在宅復帰まで支援
- 3 幅広い疾患を対象にリハビリ提供

県西部唯一の三次救急医療機関として、急性期から在宅復帰まで幅広く支援する地域の中核病院です。急性期・回復期リハ・地域包括ケア・緩和ケア病棟を備え、脳血管・心大血管・運動器・呼吸器疾患やがん患者など、幅広い疾患を対象にリハビリ提供しています。

リハビリスタッフ



PT 19名



OT 13名



ST 6名

「医療を通じて“地域で生きる”を支援する」という理念のもと、急性期から回復期、地域包括、緩和ケアまで幅広く対応しています。多様な経験を積める環境の中で、人材育成にも力を入れ、学びと成長を支援する職場づくりを進めています。（職場長より）

アクセス

〒697-8511

島根県浜田市浅井町777-12



0855-28-7098

(リハビリテーション室)



リハビリテーション科 理学療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

島根県西部唯一の三次救急医療施設として、超急性期から在宅復帰まで幅広い医療を担う地域の中核病院です。急性期病棟に加え、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟を備え、整形外科、脳血管、呼吸器、循環器、がん、内部疾患など多様な疾患と病期を経験できます。現在13名の作業療法士が在籍し、認定資格取得や専門研修を通じて、地域医療に貢献できる人材育成に力を入れています。



教育体制・学術活動

教育体制には科全体で力を入れており、新人スタッフにはプリセプター制度を導入し、一人ひとりに指導者を配置しています。新人教育プログラムも充実しており、症例報告会や移乗介助、各疾患のリスク管理に関する勉強会を実施しています。急性期ならではの多様な疾患にも安心して対応できるよう、学びと成長を支える環境を整えています。

学会発表:2件(島根県作業療法士会)

認定資格:がんのリハビリテーション研修 8名 3学会合同呼吸療法認定士 3名

多職種連携

多様な地域ニーズに対応する病棟を有し、PT・STとの情報共有を積極的に行っています。リハビリカンファレンスでは医師や看護師、ソーシャルワーカーと連携し退院支援を実施しています。また、退院前訪問指導では自宅環境に応じたADL訓練や動作確認を行い、ケアマネジャーや家族、連携施設への情報提供にも努めています

先輩からのメッセージ

経験5年目です。当院の特徴としては、急性期から回復期、地域包括、緩和ケアまで幅広い領域を経験し、学ぶことができます。

新人研修は各疾患の勉強会やプリセプターと共同で作成する症例発表などがあり、多くの臨床経験を積むことができます。

先輩方はみんな優しく臨床のことなど困ったことがあれば何でも相談できる環境です。また年次休暇も利用しやすいため、しっかりと休息をとることができとても働きやすいです。





岡山医療センター

対象病期

高度急性期✓

急性期



回復期

長期療養



対象疾患



脳血管✓



運動器✓



呼吸器✓



心臓✓



がん✓



神経難病✓

重症心身障害



発達障害✓

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 入院直後から行う早期リハビリ介入
- 2 多くの疾患に対応する急性期医療体制
- 3 多職種連携による包括的支援

当院は平均在院日数約10.5日の急性期病院です。整形外科・循環器・脳血管・新生児・呼吸器・がんなど幅広い疾患に対応し、入院直後や術後当日から早期介入を実施しています。多職種と連携し、包括的なリハビリテーションを提供しています。

リハビリストッフ



PT23名



OT 8名



ST 3名

当院は平均在院日数の短縮を目指し、早期かつ効果的なリハビリ介入に注力しています。また、新人から役職者まで幅広い世代に対する教育・指導体制を構築しており、働きがいのある職場づくりに努めています。（職場長より）

アクセス

〒701-1192

岡山県岡山市北区田益1711-1

☎ 086-294-9911（代）

リハビリテーション科
理学療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

作業療法部門には現在7名が在籍しており、運動器疾患（脊椎・外傷・人工股関節術後）、脳血管疾患、神経難病、呼吸器・内部疾患、がんなど、幅広い疾患の患者さんを対象としています。急性期からの早期介入に注力し、機能回復に加えて、ADLやQOL向上を目指した多角的なアプローチを行っています。また、金川病院にも1名を配置しており、外来リハビリテーションや自宅復帰に向けた支援も取り組んでいます。



教育体制・学術活動

新人教育はOJTを中心としており、新人1名に対して教育担当者がつき、評価や治療の進め方について随時相談・指導を受けられる体制を整えています。また、リハビリテーション科内での定期的な勉強会に加えて、理学療法士や言語聴覚士との合同研修も実施し、切磋琢磨しながらスキルアップを目指せる環境となっています。

学会発表:令和7年度_0件

その他:院内_外傷勉強会講師、院外_他院合同勉強会講師、症例検討会等

多職種連携

リハビリ開始から退院に至るまで、医師、看護師、MSW等との多職種カンファレンスを定期的に開催しています。必要に応じて退院前カンファレンスを実施し、病院から在宅へスムーズに移行できるよう支援しています。

先輩からのメッセージ

当院は急性期総合病院として、多種多様な疾患や背景を持つ患者さんと向き合っています。日々の臨床を通じて、幅広い知識や技術、そして作業療法の基礎を学び、より良い医療の提供を目指しています。先輩方にいつでも相談できる風通しの良い環境で、共に成長していける職場です。私たちと一緒により良い知識や技術を学びながら働いてみませんか。





南岡山医療センター

対象病期

高度急性期

急性期 ✓

回復期

長期療養 ✓



対象疾患



脳血管 ✓



運動器 ✓

呼吸器



心臓 ✓

がん



神経難病 ✓



重症心身障害 ✓



発達障害 ✓

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 多様な専門病棟を備える
- 2 急性期と維持期に対応
- 3 働きやすさと成長を支援

神経・筋疾患病棟、重症心身障害児者病棟、急性期病棟を有し、入院・外来患者さんの急性期・維持期に介入しています。子育て・介護世代を含む多様な職員背景に配慮し、ワークライフバランスを支援するとともに、キャリアアップも後押ししています。

リハビリスタッフ



PT 11名



OT 9名



ST 4名

新卒から25年目まで幅広い経験年数の職員が在籍し、助言を受けながら安心して働ける環境です。連携を大切にし、ハラスメント防止やメンタルサポートにも取り組みながら、「働きやすく働きがいのある職場」を目指しています
(職場長より)

アクセス

〒701-0304

岡山県都窪郡早島町早島4066

☎ 086-482-1121 (代)



リハビリテーション科

理学療法士長・作業療法士長まで



みなみ君

作業療法部門

部門紹介

神経筋疾患（パーキンソン病、ALS、筋ジストロフィー）をはじめ、呼吸器疾患、整形外科疾患、心臓リハビリテーション、重症心身障害など、幅広い領域に対応しています。多様な疾患に関わることができるだけでなく、急性期から維持期まで、患者さんの状態や生活背景に応じた継続的な支援に携わることが当院の大きな特徴です。



教育体制・学術活動

新人スタッフには総合的な指導者とメンターを配置し、安心して学べる環境を整えています。定期的なメンタルサポートを行い、2年間にわたり継続した新人教育を実施しています。また、学術活動では研究計画や抄録・論文作成、発表指導まで幅広く支援しています。さらに、心臓リハビリテーション指導士資格を有する作業療法士も在籍しており、資格取得に向けたサポート体制も充実しています。

その他:県士会や機構内の研修会参加

多職種連携

定期的に多職種カンファレンスを実施し、患者さんの情報共有や目標設定を行いながら、チーム医療を推進しています。退院支援に向けて医療者間の連携強化を大切にしており、神経・筋疾患病棟では、特殊スイッチを用いた意思伝達装置や透明文字盤の活用など、コミュニケーション支援にも多職種で取り組んでいます。

先輩からのメッセージ

入職して4年目になります。当院の魅力は、患者さん一人ひとりの小さな変化や“その人らしさ”を大切にしながら関わるところだと感じています。スタッフ同士も相談しやすく、困ったときには気軽に声を掛け合える、温かい雰囲気があります。また、勉強会など学びを深められる機会も多く、日々成長を実感しながら働くことができます。安心して挑戦できる環境が整っているので、ぜひ一緒に働きましょう。





国立療養所 長島愛生園

対象病期

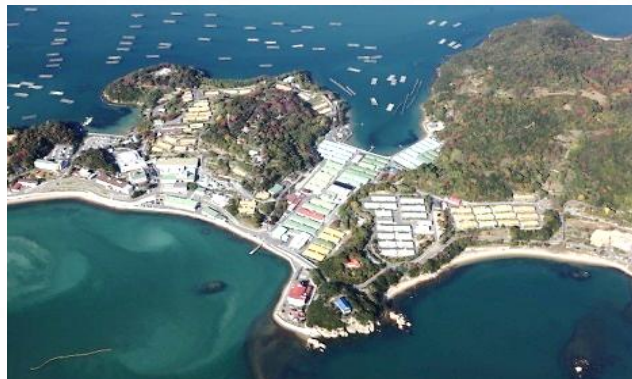
高度急性期

急性期

回復期



長期療養



対象疾患

脳血管



運動器

呼吸器

心臓

がん

神経難病

重症心身障害

発達障害



精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 日本初の国立療養所として開設
- 2 ハンセン病療養の歴史を継承
- 3 療養施設入所者に寄り添う生活支援

当園は1930（昭和5）年、初の国立療養所として開設し、当時、ハンセン病は感染症であることが分かっていたが有効な治療法がなく、国の政策として隔離が行われました。現在、入所者の皆様はハンセン病そのものは治癒していますが、高齢化や後遺症、今なお残る偏見や差別により社会復帰が困難なため、当園で生活されています

アクセス

〒701-4592

岡山県瀬戸内市邑久町虫明6539

☎ 0869-25-0321（代）

理学作業療法室
運動療法主任まで



リハビリスタッフ



PT 4名



OT 2名



ST 1名

当園では「入所者ファースト」「職員ファースト」をモットーに、全職員が一丸となって日々の業務に取り組んでいます。入所者の皆様と接する中で、その社会的背景を理解し、ハンセン病の歴史について深く考える機会が得られると思います。また、ワークライフバランスも重視し、「この職場で、そしてNHOで働きたい」と思える職場づくりを目指しています。ぜひ一度、当園へお越しください。皆様のお越しをお待ちしております。（職場長より）

作業療法部門

部門紹介

ハンセン病およびハンセン病後遺症に対する従来の作業療法は、末梢神経障害や機能障害による二次的病変や後遺症の予防・軽減を目的としていました。しかし現在では、入所者様の高齢化に伴い、残存する身体機能や後遺症を考慮した治療プログラムを立案しています。大腿骨頸部骨折などの急性期から維持期への対応や、健康維持を目的とした介護予防運動など、入所者様一人ひとりの状態に応じた支援を行っています。また、変形や欠損などの機能障害に対しては、義肢装具士と連携しながら機能回復を支援しています。



教育体制・学術活動

入職後は、個人の習熟度に応じて先輩作業療法士または理学療法士から指導を受けることができます。指導期間に制限はなく、納得できるまで知識や技術を学べる環境が整っています。

学会発表:令和7年度_0件

多職種連携

園内委員会主催で、介護予防活動（レクリエーション）を毎月第2・第4火曜日に実施しています。また、各部署のカンファレンスにも医師、看護師、介護員、MSW、理学療法士、言語聴覚士とともに定期的に参加しています。必要に応じて一般舎への訪問やセンターへの訪室など、他部署と連携しながら退園時指導にも努めています。

先輩からのメッセージ

入職し15年目になります。先輩理学療法士や医師、入所者の方々から暖かいご指導と励ましをいただき、少しずつですが自信をつけることができました。経験の豊富な職員が多く、公私にわたり適切な助言や支援を受けることができる施設です。また平成30年6月からは新しく改築した総合診療棟で臨床をしています。新しい建物で、清々しい気持ちで働くことができる長島愛生園です。



国立療養所 邑久光明園

対象病期

高度急性期

急性期

回復期



長期療養



対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器



心臓



がん



神経難病

重症心身障害

発達障害

精神科

ハンセン後遺症



当院の特徴

- ① 瀬戸内の温暖な気候と豊かな自然環境
- ② ハンセン病後遺症への専門的リハビリ
- ③ 入所者を支える介護予防リハビリ

国立療養所邑久光明園は、全国13か所の国立ハンセン病療養所の一つで、岡山市の南東約35kmに位置する長島にあります。温暖な瀬戸内海の気候と自然に恵まれた環境の中、入所者様の多くはハンセン病の後遺症を抱えながら生活されており、平均年齢は約90歳です。そのため、リハビリテーションや介護予防の充実に取り組んでいます。

リハビリスタッフ



PT 3名



OT 2名



ST 1名

入所者の皆様が充実した日々を送れるよう、多職種が連携して支援しています。また、ワークライフバランスを推進し、働きやすい職場環境を整備しています。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・義肢装具士が協力し、より良い生活の実現に努めています。

(職場長より)

アクセス

〒701-4593 岡山県瀬戸内市邑久町虫明6253

☎ 0869-25-0011 (代)

リハビリテーション室
副理学療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

当園の作業療法士は、ADL訓練や機能訓練、福祉用具の提案、自助具の作成、生活環境の調整などを行っています。当園の入所者の平均年齢は約90歳と高く、介護予防だけでなく、QOL（生活の質）を維持・向上できるように生活支援にも力を入れています。入所者の皆様が安心して心豊かな毎日を送れるよう支援することが、当園における作業療法士の役割です。また、夏祭りやカラオケ大会などの行事にも積極的に参加し、入所者の皆様とのふれあいを大切にしています。



教育体制・学術活動

新規採用者・転入者を対象に、入職後3日間の研修を実施しており、当園の理念や活動内容、ハンセン病の歴史について学ぶことができます。科内では、1日2回のミーティングを行って情報共有を図っており、安心して業務に取り組める体制を整えています。園内では研修会を各委員会が主催して定期的開催しており、職員全体の知識・技術の向上に努めています。

学会発表:令和7年度_1件(ハンセン病コメディカル学術集会)

多職種連携

当園では、摂食嚥下障害対策委員会（SST）、人生サポート委員会（JST）、栄養サポート・創傷対策委員会（NST）、医療安全管理委員会、感染対策委員会を設置しています。また、病棟や入所者センターの職員と連携し、入所者の皆様の生活上の課題に迅速かつ適切に対応できる体制を整えています。

先輩からのメッセージ

令和4年度より当園へ転入となりました。当初は新しい環境に不安がありましたが、園内・科内でのサポート体制が整っている為、自信を持って業務に取り組む事ができるようになりました。また、経験豊富で勉強熱心なスタッフが多いので、セラピストとしてスキルアップできる環境も整っています。





呉医療センター

対象病期

高度急性期✓

急性期



回復期

長期療養



対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器



心臓



がん



神経難病

重症心身障害

発達障害



精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 645床を有する大規模病院
- 2 地域医療を支える中核施設
- 3 高度急性期医療を幅広く提供

当院は、39診療科・645床を有する国立病院機構の大規模病院の一つです。「地域がん診療連携拠点病院」「三次救命救急センター」「地域周産期母子医療センター」「災害拠点病院」「地域医療支援病院」などの機能を担い、地域医療の中核を担う高度急性期医療機関として、専門性の高い医療を提供しています。

リハビリスタッフ



PT21名



OT13名



ST 6名

相互尊重のコミュニケーションを大切にし、働きやすい職場づくりを推進しています。約40名のスタッフがそれぞれの役割を担い、勉強会や症例検討、学術活動を通して臨床力と組織力の向上に努めています。（職場長より）

アクセス

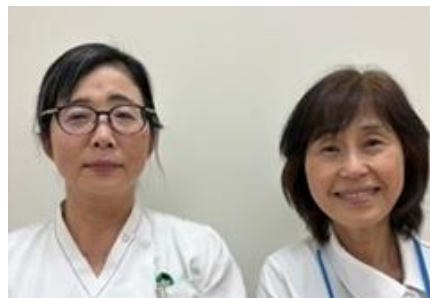
〒737-0023

広島県呉市青山町3番1号

☎ 0823-22-3111（代）

リハビリテーション科

理学療法士長・作業療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

当院には、13名の作業療法士が在籍しており、11名が身体障害領域、2名が精神障害領域を担当しています。急性期病院であるため、発症間もない重症患者さんへの介入が多いことに加え、緩和ケア病棟や精神科病棟を有していることから、身体機能の回復支援だけでなく、精神面へのケアを必要とする患者さんにも対応しています。365日診療体制のもと、発症早期から切れ目のないリハビリテーションを提供し、幅広い視点と実践力を備えた作業療法士の育成に努めています。



教育体制・学術活動

当院では、「新人を大切にすること」が文化として根付いています。1年目は各チームをローテーションしながら、社会人および作業療法士としての基礎を身につけることができます。新人にはプリセプターが配置され、担当患者数にも配慮しながら、安心して臨床経験を積める体制を整えています。また、採用時オリエンテーションに加え、院内・科内・チーム別の勉強会を開催し、継続的な学びを支援しています。

学会・研究会発表:令和7年度_1件

院内取り組み発表会や広島県作業療法士会・国立病院総合医学会に向けて取り組んでいます。当科の「教育・学術部」中心に学会発表サポートなど職員のスキルアップを応援します。

多職種連携

各診療科では、医師・看護師・MSW・薬剤師・管理栄養士などによる多職種カンファレンスが週1回開催されています。また、退院前には必要に応じてカンファレンスを実施するとともに、在宅医療スタッフとの情報共有や連携を行い、患者さんが病院から在宅へ円滑に移行できるよう支援しています。

先輩からのメッセージ

当院は急性期病院で、幅広い疾患を経験することができるのが強みです。作業療法部門ではチーム制を導入しており、1年毎にローテーションし様々な診療科の知識や経験を積むことができます。新人の方は教育プログラムが組まれており、ゆっくり一つ一つ学んでいくことができます。プリセプターや先輩方から全面的なサポートがあり、質問もしやすく、安心して臨床経験を積むことができる環境です。





福山医療センター

対象病期

高度急性期

急性期



回復期

長期療養



対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器



心臓



がん



神経難病

重症心身障害



発達障害



精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 広島東部と岡山西部を支える中核病院
- 2 苦痛軽減を重視した先進的な医療体制
- 3 チーム医療と臨床研究を推進

広島県東部医療圏の中核病院として、岡山県西部地域の医療も担っています。「苦痛の少ない医療」の実践を目指し、内視鏡・腹腔鏡を用いた検査・治療・手術を推進。さらに、緩和ケアチームをはじめ多職種が連携するチーム医療を充実させています。また、治療法開発に向けた臨床研究や治験にも積極的に取り組んでいます。

リハビリスタッフ



PT14名



OT10名



ST 3名

忙しい中でも、真摯に患者さんと向き合い、前向きに業務へ取り組んでいます。教育・発表の機会も多く、学びながら成長できる環境です。職場の連携も良く、助け合いながら働けることが当科の魅力です。一緒に新たな一步を踏み出しましょう。（職場長より）

アクセス

〒720-8520

広島県福山市沖野上町4丁目14-17



084-922-0001（代）



リハビリテーション科

理学療法士長・作業療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

当院の作業療法は、整形外科（人工関節、脊椎疾患、上肢疾患、骨折など）、がん（周術期から終末期）、小児など幅広い疾患を対象としています。入院早期から介入し、患者さんの早期離床とADL再獲得に寄与しています。上肢外傷や腱板断裂術後は、外来でも作業療法を継続しています。必要に応じて自助具を作成し、生活復帰に向けた支援を行っています。このように急性期から在宅まで幅広くサポートしており、多様な分野の経験を積むことができます。



教育体制・学術活動

独自の新人教育マニュアルに基づき、指導者を配置して能力に応じた段階的指導を行っています。まずは整形外科領域を中心に、人工関節などの作業療法を学びながら経験を積んでいただきます。慣れるまでは指導者だけでなく先輩スタッフもサポートするため安心です。また、呼吸療法認定士やがんリハビリテーション研修修了者、医療リンパドレナージセラピストなど認定資格取得者も在籍しており、幅広い学びを得られます。

学会発表:令和7年度_3件(国立病院総合医学会)

医中誌やメディカルオンライン等が閲覧でき、文献を入手しやすいです。統計ソフトもあり、研究や学会発表がしやすく、発表時には先輩から指導を受けることもできます。

多職種連携

褥瘡委員会や緩和ケア委員会、認知症ケアチームなどに作業療法士が所属し、専門性を活かして他部門と連携しています。また、病棟カンファレンスにも積極的に参加し、多職種協働によるリハビリテーションを推進することで、患者さんへの支援効果を高めています。

先輩からのメッセージ

当院では、整形外科疾患や内部疾患など、あらゆる世代の幅広い疾患のリハビリテーションを行っています。入職当時は、不安や心配事も多くありましたが、先輩方が丁寧に指導してくださり、日々成長を感じています。また、職場内での連携も密に行われており、非常に相談しやすい環境のため、安心して患者様に介入ができています。

ぜひ一度、見学に来てみてください。





広島西医療センター

対象病期

高度急性期

急性期 ✓

回復期

長期療養 ✓



あなたのために、地域と共に
信頼を、すべての人に



対象疾患



脳血管 ✓



運動器 ✓



呼吸器 ✓

心臓



がん ✓



神経難病 ✓



重症心身障害 ✓

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 急性期から療養期まで幅広く対応
- 2 神経・筋疾患や重症心身障がいに対応
- 3 外来を含む多様なリハビリを経験

急性期病床に加え、筋ジストロフィーやALSなどの神経・筋疾患、重症心身障がい児（者）の療養病棟を有する「ケアミックス型」の病院です。幅広い領域のリハビリテーションを経験でき、外来リハビリテーションにも携わることができます。

リハビリスタッフ



PT 14名



OT 8名



ST 4名

神経・筋疾患への対応には日々の学びが欠かせません。急性期リハビリテーションも含め、患者さん一人ひとりに真摯に向き合い、ニーズに応えられるよう努力を重ねています。「患者さんとともに」成長し続けるリハビリテーション科を目指しています。

（職場長より）

アクセス

〒739-0696

広島県大竹市玖波4丁目1番1号



0827-57-7151（代）



リハビリテーション科

理学療法士長・作業療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

整形外科疾患：上肢疾患の中でも、肩腱板断裂術後の後療法（人工関節を含む）が主な対象となっています。

神経筋疾患：筋ジストロフィーやALS患者さんを対象とした意思伝達装置・操作スイッチの導入およびパーキンソン病患者さんへの介入を多く行っています。

重症心身障がい児・者：コミュニケーション支援や環境調整などを検討しながら介入しています。

血液がん：血液腫瘍患者さんのADLや手指・認知機能維持改善プログラムを実施しています。

各領域で専門性の高い作業療法を展開しています！



教育体制・学術活動

新人教育プログラムに基づき、新人1名に対して指導者を1名配置しています。一人ひとりのペースに合わせて指導を行い、臨床スキルだけでなく、社会人としての基礎も身に付けられる環境です。科内勉強会に加え、肩腱板損傷の評価・介入、神経・筋疾患で使用するスイッチ、重症心身障がい児（者）への関わり方などをテーマに、研修を行っています。臨床でもスタッフ全員で情報を共有し、一緒に考えながら取り組みます。

学会発表:令和7年度 3件

日本がんリハビリテーション学会学術集会、筋ジストロフィー医療研究会学術集会
広島県作業療法士会(症例検討会)

多職種連携

各診療科で定期的に多職種（医師、看護師、薬剤師、メディカルソーシャルワーカーなど）によるカンファレンスを実施し、情報共有を行っています。また、在宅に関わるスタッフにリハビリテーションを見学していただくほか、文書による情報提供を行うなど、地域との連携にも取り組んでいます。

先輩からのメッセージ

当院では、急性期から慢性期まで幅広いリハビリテーションを経験できます。急性期では全身状態を踏まえたリスク管理を、慢性期では患者さんの生活に寄り添いながら、QOLの向上を目的とした支援を行っています。特に神経・筋疾患や重症心身障がい領域では、多職種と連携しながら長期的に関わる機会が多く、患者さんの生活を支えることにやりがいを感じています。また、科内では経験年数に関わらず相談しやすい雰囲気があり、科内研修を通して互いに学び合える環境が整っています。幅広い疾患や病期を経験しながら、成長し続けられる職場だと感じています。





東広島医療センター

対象病期

高度急性期

急性期



回復期

長期療養



対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器



心臓



がん



神経難病



重症心身障害

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 急性期医療を担う地域中核病院
- 2 高度専門医療とチーム医療を実践
- 3 研究・教育・情報発信を推進

広島中央医療圏の急性期中核病院として、科学的根拠に基づく安心・安全な医療を提供しています。がん、循環器疾患、呼吸器疾患、内分泌・代謝性疾患を中心とした政策医療を担っており、ナショナルセンター等との連携のもと、臨床研究や教育研修、情報発信にも取り組んでいます。地域医療の発展と人材育成に貢献しています。

リハビリスタッフ



PT12名



OT 7名



ST 3名

入院直後や手術前後からリハビリテーションを開始し、全診療科の疾患に対応しています。特に脳血管疾患や神経難病の患者さんが多く、早期離床・早期回復を目指した支援を行っています。土日祝日も当日処方に対応できる体制を取っています。（職場長より）

アクセス

〒739-0041

広島県東広島市西条町寺家513

☎ 082-423-2176 (代)

リハビリテーション科
理学療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

当院の作業療法では、脳血管疾患や運動器疾患の急性期を中心に、呼吸器・循環器疾患やがん患者さんなど幅広い疾患を対象に診療を行っています。平均在院日数は2週間弱と短期間ですが、その中で在宅復帰や回復期病院への転院を見据え、日常生活動作練習、機能訓練、高次脳機能訓練、環境調整などに取り組んでいます。整形外科領域では、術後の後療法やスポーツ障害に伴う上肢（肩・肘）疾患に関わる機会が多く、専門医の指導のもと急性期リハビリテーションを実践しています。



教育体制・学術活動

当院では新人教育プログラムに沿って、上半期は主に運動器・脳血管領域を中心に指導を行っています。幅広い分野のリハビリテーションを実施しているため、下半期からは2年目以降に担当する可能性のある領域についても情報共有を行いながら、段階的に経験を積める体制を整えています。また、担当患者数についても習熟度に応じて徐々に増やし、安心して成長できるよう支援しています。

学会発表:令和7年度_0件

県士会や国立病院総合医学会での発表を目標に、科内勉強会の場を利用した発表の練習などを行っています。

多職種連携

入院から退院までの間、医師・看護師・MSWなどが参加する多職種カンファレンスが定期的に開催されています。また、医師をはじめとする他職種との距離が比較的近く、カンファレンスの場に限らず日頃から気軽に相談や情報共有ができる環境が整っています。

先輩からのメッセージ

当院では脳血管疾患、運動器をはじめとした様々な疾患を対象に発症初期からリハビリを行っています。患者さんの回復の過程などを肌で感じることができ、とてもやりがいのある職場だと感じています。リハビリスタッフ間はもちろん、病棟看護師さんや医師ともしっかりと連携がとりやすい環境が整っており、相談事もしやすいのではないかと思います。





賀茂精神医療センター

対象病期

高度急性期

急性期 ✓

回復期 ✓

長期療養 ✓



対象疾患

脳血管

運動器

呼吸器

心臓

がん

神経難病



重症心身障害 ✓

発達障害



精神科 ✓

ハンセン後遺症

当院の特徴

- ① 中四グループ最大規模の精神科病院
- ② 精神科救急・災害医療の中核
- ③ 多職種連携によるチーム医療

当院は、精神疾患や重症心身障害の政策医療に注力し、精神科作業療法やデイケア、障害児（者）リハビリテーションを実施しています。精神科救急、医療観察法病棟、DPAT派遣、人材育成などの中核を担い、多職種連携によりチーム医療を展開しています。

リハビリスタッフ



PT 2名



OT 9名



ST - 名

メンタルヘルス領域は今後ますます重要となる分野で、対人支援の基盤でもあります。患者さんの「その人らしい生活」を一緒に探すのと同時に、職員のワークライフバランスも大切にしています。（職場長より）

アクセス

〒739-2621

広島県東広島市黒瀬町南方92番地

☎ 0823-82-3000（代）

リハビリテーション科
作業療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

リハビリテーションを「入院中から社会生活の実現を一貫して支援する活動」と位置づけ、患者さんの自主性と多様性を尊重しています。精神科病棟は急性期・回復期・退院準備期に機能分化し、回復段階に応じた作業療法や疾病教育・退院準備プログラムを提供、リハビリセンターでは選択型の活動や個別支援も充実しています。今年度は訪問看護や障害児分野にも参画し、支援を広げています。



教育体制・学術活動

新採用者・転入者には4日間の院内研修があり、精神科の基礎から学べます。日々の業務は先輩OTとチームで行い、助言を受けながら経験を積めます。ミーティングや勉強会など相談機会も多く、チェックリストにより到達度を確認しながら成長できます。NHO精神科病院ネットワークを活用した研修機会も充実しています。

令和7年度 院内研修会講義 2件

養成校講義 1件（広島大学保健学科作業療法学専攻「精神障害作業療法学」）

多職種連携

当院リハビリテーション科は、作業療法・デイケア・理学療法・心理相談・医療ソーシャルワーカー・療育指導・訪問看護の7部門で構成されています。同一フロアに医局もあり、多職種連携が日常的に行われています。各種カンファレンスや退院支援会議を通じ、OTとしての専門性を発揮できる環境です。

先輩からのメッセージ

入職して2年目になります。私が担当している退院準備期病棟は長期入院されている方が多く退院に向けて目標設定や関わり方に苦戦していますが、その人らしい生活とは何かを意識して日々の関係性作りに励んでいます。また業務で困り事や悩みがある時は、先輩方や上司にアドバイスを頂きながら、自分らしさを大切に患者さんと関わらせていただいています。院内の研修もあるので自分のスキルアップを目指すことができます。皆さんも素敵な職場で働いてみませんか。





関門医療センター

対象病期

高度急性期✓

急性期

✓

回復期

✓

長期療養



対象疾患



脳血管

✓



運動器

✓



呼吸器

✓



心臓

✓



がん

✓



神経難病

✓

重症心身障害

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 救急から在宅復帰まで切れ目なく支援
- 2 地域医療を支える急性期病院
- 3 高度救急医療を提供・救急科ER24

下関市から山口県北西部を医療圏とする救急指定病院です。病床数は400床（医療法）で、救命救急センター・急性期一般・地域包括ケア病棟を有し、救命医療から在宅復帰まで一貫した医療サービスを提供しています。私たちは、高齢者救急への早期介入、多職種連携を推進するとともに、地域に求められる人材育成に取り組んでいます。

リハビリスタッフ



PT 16名



OT 11名



ST 3名

若手職員はジョブローテーションを通じて多くの先輩から指導を受けながら経験を積み、転入職員にはキャリアや専門性に応じた業務調整を行っています。One-Team精神を大切にし、互いに支え合いながら安心して働ける職場環境を目指しています。

（職場長より）

アクセス

〒752-8510

山口県下関市長府外浦町1-1

☎ 083-241-1199（代）

リハビリテーション科
理学療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

当院の作業療法は、脳神経疾患・整形疾患を中心に介入しており、脳梗塞後の上肢機能改善や高次脳機能障害の評価・改善、整形疾患では上肢骨折やハンドセラピー、腱板損傷への介入を行っています。また、神経難病患者さんへのコミュニケーション支援や、循環器・呼吸器疾患を有する方への運動療法、動作指導も実施しています。さらに、がんや重症心身障害者を対象としたリハビリテーションにも取り組み、幅広い分野に対応しています。



教育体制・学術活動

新人教育では、新人スタッフ1名につき指導者を1名配置しています。さらに、新人教育部会で育成状況を共有しながら、継続的な指導・助言を行っています。この体制は1年間継続し、その間は一人ひとりの患者さんに丁寧に関わられるよう配慮しています。また、勉強会は分野別に担当者を決めて定期的に開催しており、幅広い知識を学ぶことができます。さらに、プチ症例検討会も実施し、自己研鑽できる環境づくりを行っています。

学会発表: 令和7年度 0件

有資格者の育成を図るべく、研修会等に参加しています。

三学会合同呼吸療法認定士、心不全療養指導士等が在籍しています。

多職種連携

診療科ごとに、医師・看護師・メディカルソーシャルワーカーなどの多職種によるカンファレンスを毎週実施しています。また、必要に応じて医師、看護師、MSWと随時連携し、情報共有や意見交換を行っています。

先輩からのメッセージ

国立病院機構は異動があるため、さまざまな知識や経験を持ったスタッフと一緒に働く機会が多く、自分自身のスキルアップにつながっていると実感しています。また、福利厚生が充実しており、年次休暇も取得しやすく、適度にリフレッシュしながら働くことができます。わたしは産前産後休暇と育児休暇を取得しましたが、復帰後も周囲のスタッフに支えていただきながら、育児と仕事の両立ができています。



対象病期

高度急性期

急性期 ✓

回復期

長期療養 ✓



対象疾患

脳血管

運動器



呼吸器 ✓

心臓



がん ✓

神経難病



重症心身障害 ✓

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 がん・呼吸器診療の専門病院
- 2 重症心身障害児者を支える医療
- 3 グループの中でも、特色ある診療体制

「がん」「呼吸器」「重症心身障害（重心）」を診療の三本柱としています。がん・呼吸器疾患の専門病院として高度で専門的な医療を提供するとともに、重症心身障害児者に対してきめ細やかな医療と療育を実践しています。中国四国グループでも特色ある診療を行う数少ない病院です。

リハビリスタッフ



PT 9名



OT 5名



ST 3名

当院は呼吸器・がん・重症心身障害（重心）に特化した専門施設です。多職種が連携しながら患者さんを支援しており、相談しやすい職場環境が整っています。また、子育て世代や男性職員の育児休暇取得にも配慮しています。
(職場長より)

アクセス

〒755-0241

山口県宇部市東岐波685番地

☎ 0836-58-2300

リハビリテーション科
副理学療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

当院の作業療法は、重症心身障害児者（脳性麻痺、脳症後遺症、溺水後遺症など）、呼吸器疾患

（COPD、間質性肺炎、肺がんなど）、がん（主に肺がん）、緩和ケア領域を対象としたリハビリテーションを行っています。重症心身障害児者では、人工呼吸器を装着している方や超重症児（者）が多いことが特徴です。関節可動域訓練やポジショニングを通して変形予防を図り、快適な日常生活を送ることができるよう支援しています。また、一般病棟では上肢機能障害や高次脳機能障害に対するリハビリテーション、ADL訓練などにも取り組んでいます。



教育体制・学術活動

新人教育では担当指導者を配置し、OT部門全体で指導・助言を行っています。新人スタッフが安心して業務に取り組めるよう、慣れるまでは患者さんをゆっくり担当できる体制を整えています。また、科内勉強会や院内研修会も定期的を開催しており、知識や技術の向上を支援しています。

学会発表：令和7年度 0件

院内での研修会や医療安全の取り組みについて発表を行っています。

国立病院総合医学会での学会発表にも取り組んでいます。

多職種連携

PT・STをはじめとするリハビリテーション専門職と密に連携しながら、患者さんのリハビリテーションに取り組んでいます。また、入院から退院までの間、医師・看護師・医療ソーシャルワーカーなど多職種によるカンファレンスを定期的の実施し、安心して退院・転院できるよう支援しています。重症心身障害病棟では、多職種で目標を共有し、個別カンファレンスを行っています。さらに、病棟と協力したポジショニングの検討や、嚥下・骨折予防に関する勉強会を通じて知識・技術の向上に努めています。

先輩からのメッセージ

重症心身障害児（者）や緩和ケア、呼吸器などすべての病棟の患者さんを担当します。キャリアとしてはやや特殊な職場ですが、興味がある方は、ぜひ一緒に勉強していきましょう。がんや脳性麻痺など特定の疾患と深く関わっていける職場だと思います。海が見える桜の綺麗な病院です。ぜひ一度お越しください。





岩国医療センター

対象病期

高度急性期 ✓

急性期 ✓

回復期

長期療養



対象疾患



脳血管 ✓



運動器 ✓



呼吸器 ✓



心臓 ✓



がん ✓

神経難病

重症心身障害



発達障害 ✓

精神科

ハンセン病遺言

当院の特徴

- 1 広域を担う中核医療機関
- 2 2・3次救急と災害医療の要
- 3 地域からの信頼と美しい景観

当院は岩国市を中心に広島・島根の一部までをカバーし、約40万人の医療圏を担う唯一の救命救急センターです。2・3次救急や災害医療の中核として機能し、地域の信頼を支えています。高台から望む瀬戸内海の景色も魅力です。

リハビリスタッフ



PT 23 名



OT 9 名



ST 4 名

リハビリテーション科への信頼が厚く、専門職として力を発揮できる環境です。子育て中の職員も多く在籍。男性の育休取得など、ワークライフバランス推進に取り組んでいます。（職場長より）

アクセス

〒740-8510

山口県岩国市愛宕町1丁目1-1



0827-34-1000 (代)

リハビリテーション科

理学療法士長・作業療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

当院の作業療法は、脳血管疾患を中心に運動器・呼吸器・がんなど幅広い領域に対応しています。発症直後からベッドサイドでリハビリテーションを開始し、早期離床とADL回復を目指しています。さらに、NICU（新生児集中治療室）での介入や小児外来リハビリテーションも特色です。多職種と密に連携し、患者さん中心のリハビリテーションを実践しています。



教育体制・学術活動

新人1名に対して専任の指導者を配置しています。加えて、先輩セラピストにも気軽に相談できる環境づくりを心がけています。各自のペースに合わせて診療経験を積めるよう配慮、「自ら考え解決できるOT」の育成を目標にしています。さらに、科内勉強会は年間計画に沿ってPT・STと合同で行い、幅広い視野と専門性の向上を図っています。

学会発表:令和7年度_0件

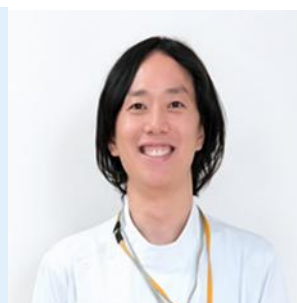
整形外科疾患に関する勉強会を定期的に行いました。

多職種連携

各科のカンファレンスに積極的に参加し、生活支援の専門職として役割を発揮しています。ADLの工夫や介助方法について他職種から相談を受けるほか、医師から退院後の生活に関する意見を求められる機会も多くあります。

先輩からのメッセージ

急性期の限られた期間でも、多職種と密に連携し、早期リハビリテーションを提供しています。先輩OTに加え、PT・STからも助言を得ながら関わることができ、成長につながる環境です。転勤者への支援も手厚く、雰囲気良く働きやすい職場です。
(卒後3年目職員)





柳井医療センター

対象病期

高度急性期

急性期

回復期

長期療養



対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器



心臓

がん



神経難病



重症心身障害



発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 神経難病に特化した専門医療
- 2 重症心身障害児者の中核病院
- 3 専門的外科治療および人工透析

当院は、東に瀬戸内のハワイと呼ばれる周防大島、西に大星山を望む自然豊かな環境にあります。神経難病（筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病、多発性硬化症等）や重症心身障害児（者）の専門医療施設として、山口県全域と広島県西部の中核的役割を担い、一般外科、肛門疾患、大腸・直腸癌治療、入院透析にも対応しています。

リハビリスタッフ



PT 7名



OT 5名



ST 3名

患者さん一人ひとりに寄り添った安心・安全な医療を提供しています。瀬戸内海を望む恵まれた環境の中で、臨床経験を積み、ワークライフバランスを充実させ、みんなで共に成長していける職場を目指しています。（職場長より）

アクセス

〒742-1352

山口県柳井市伊保庄95

☎ 0820-27-0211（代）

リハビリテーション科
理学療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

当院では、神経難病や慢性腎不全による人工透析、重症心身障害児（者）など、多様な患者さんが長期入院されています。一人ひとりの人生や思いに寄り添い、QOL（生活の質）を重視した支援ができることも大きな魅力です。作業療法では、ADL支援に加え、意思伝達装置を活用したコミュニケーション支援にも積極的に取り組んでいます。また、脳卒中や整形外科疾患など幅広い分野のリハビリテーションにも対応しています。



教育体制・学術活動

新人教育では、新人教育マニュアルを活用し、プリセプター制度や新人教育チェックシートを用いて、一人ひとりの成長段階に応じた丁寧な指導を行っています。また、チーム制を導入することで、リハビリテーション職種間の連携を図り、安心して学べる環境づくりに努めています。作業療法部門では、定期的なミーティングや勉強会を通して、知識・技術の向上と情報共有を行っています。

学会発表:令和7年度_1件

「HAL医療用下肢タイプを用いたリハビリテーションに関する文献的検討」

多職種連携

医師・看護師・ソーシャルワーカー・臨床心理士など、多職種による定期的なカンファレンスを行っています。また、重症心身障害児（者）病棟では、保育士とも密に情報共有を行い、連携を深めています。

先輩からのメッセージ

入職4年目です。当院は屋外庭園が広く、桜や紫陽花、椿など四季折々の花を患者さんと楽しむことができます。OTではQOL向上を目的に神経難病の患者さんに対して、意思伝達装置・文字盤などのコミュニケーションツールの導入や一人一人の困難さに応じてナースコールの変更を行っています。また、押し花や編み物などの作業活動も積極的に実施しており、特技の手芸を仕事に活かせるのも魅力です。分からないことは知識と技術が豊富な先輩方が丁寧に教えて下さり、チームのサポート体制も充実しているため、安心して仕事に取り組むことができます。



対象病期

高度急性期

急性期 ✓

回復期 ✓

長期療養 ✓



対象疾患



脳血管 ✓



運動器 ✓



呼吸器 ✓



心臓 ✓



がん ✓

神経難病



重症心身障害 ✓

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 結核・重心医療を担う病院
- 2 地域包括ケアで暮らしを支援
- 3 やさしい笑顔、あたたかな医療

リハビリスタッフ



PT 5名



OT 2名



ST 2名

徳島県東部を診療圏とし、政策医療である結核・重症心身障害児（者）病棟のほか、一般病棟（地域包括ケア病棟を含む）を有しています。「やさしい笑顔で、あたたかな医療を提供します」を病院理念に掲げ、地域に貢献する医療を実践しています。

「やさしい笑顔で、あたたかな医療を提供します」に基づき、患者さん一人ひとりに寄り添ったリハビリテーションを提供しています。多職種と連携しながら、患者さんの思いや目標を大切に支援しています。（職場長より）

アクセス

〒779-0193

徳島県板野郡板野町大寺大向北 1-1

☎ 088-672-1171（代）

リハビリテーション科
副理学療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

当院の作業療法では、重度心身障害（脳性麻痺・てんかん・精神発達遅滞等）、呼吸器疾患（肺結核・COPD・間質性肺炎・肺がん等）、運動器疾患、脳血管障害などを対象にリハビリテーションを行っています。特に地域包括ケア病棟では、自宅退院を目指し、日常生活動作（ADL）訓練を中心とした支援を実施しています。患者さん一人ひとりの生活背景や目標に寄り添い、安心して在宅生活へ移行できるよう取り組んでいます。



教育体制・学術活動

新人に対しては、プリセプターを中心に当科の新人教育プログラムに沿って指導を行います。入職時には院内の全体研修があり、その後も定期的に研修・講習に参加できる体制があります。

学会発表：令和7年度_0件

県作業療法士会や国立病院総合医学会等の学会への参加、発表を推進しています。院内での委員会活動や研修で講師として協力しています。

リハビリテーション科内では、月1回、勉強会や症例報告等を実施しています。

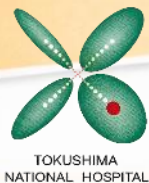
多職種連携

結核病棟、地域包括ケア病棟、重症児者病棟の各病棟で定期的に多職種カンファレンスを実施しています。自宅退院前には、必要に応じて退院後に関わるスタッフやご家族と退院前カンファレンスや退院前訪問を行っています。

先輩からのメッセージ

作業療法士になり15年目になります。作業療法を通じて重症児者病棟の患者さんや地域包括ケア病棟の患者さんの純粋な笑顔を見ているととても楽しいです。地域包括ケアのリハビリテーションでは在宅生活が可能となるように家屋評価やADL・IADL動作練習を実施し、早期退院を目指すように心がけています。カンファレンス等も多く他部署との連携ができとても勉強になります。また、研修等も多く参加させて頂き自分自身のステップアップになります。





とくしま医療センター西病院

対象病期

高度急性期

急性期



回復期



長期療養



やさしい笑顔で、あたたかな医療を提供します。

対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器



心臓



がん



神経難病



重症心身障害



発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

当院は、神経・筋疾患医療の中心的役割を担う病院として、長年にわたり筋ジストロフィー医療に取り組んできました。先人たちの理念を受け継ぎ、質の高い医療提供を目指しています。

ロボットリハビリテーションを早期から導入し、パーキンソン病に対する「非運動症状に注目した短期集中リハ入院」も実施しています。さらに、スポーツ外傷・障害に対するメディカルリハやアスレチックリハにも力を注いでいます。多様な疾患に対応する知識・技術を学べる環境が整っており、研修・研究支援や学術活動も充実しています。

リハビリスタッフ



PT 9名



OT 5名



ST 3名

政策医療である神経筋疾患に対する医療を中心に提供しています。県内にとどまらず、他県からの紹介も多く、医師や看護師、メディカル部門との連携も充実しています。質の高い医療サービスを提供できるようスタッフ一同努力しています。（職場長より）

アクセス

〒756-8585

徳島県吉野川市鴨島町敷地1354番地

☎ 0883-24-2161 (代)

リハビリテーション科
理学療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

当院の作業療法では、筋ジストロフィー、パーキンソン病関連疾患、筋萎縮性側索硬化症（ALS）などの神経筋疾患を主な対象としています。機能訓練やADLトレーニングに加え、意思伝達装置や特殊スイッチの導入・調整、自助具や生活環境の提案などを、多職種と連携しながら行っています。また、外来患者さんへの運動・生活指導にも関わり、生活に密着した支援を実施しています。さらに、短期集中リハビリテーションやボトックス治療と併用した、パワーアシストハンドによるロボットリハビリテーションも当院の特徴です



教育体制・学術活動

科内での勉強会や院内研修を定期的に行っています。作業療法士は5名と少人数ですが、部門全体で協力して支援を行っています。意思伝達装置や特殊スイッチなどの機材も充実しており、学びやすい環境が整っています。さらに認定作業療法士、呼吸療法認定士、公認心理師、介護支援専門員などの資格取得者も在籍しており、認定資格取得に向けたサポート体制も充実しています。

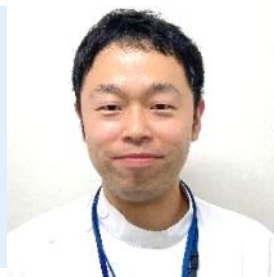
学会発表: 令和7年度 3件(徳島県作業療法学会、四国作業療法学会、日本作業療法学会)
積極的に学術活動を行い、学会発表のサポートもしています。また地域での健康教室での講義や、県土会での講義も行っています。

多職種連携

定期的なカンファレンスを実施し、入院中や退院前の環境調整（意思伝達装置、スイッチ、家屋環境など）を、多職種（医師・看護師・ソーシャルワーカー・臨床心理士など）と連携して行っています。スタッフルームやリハビリ室はPT・STと共有しており、日常的にコミュニケーションが取りやすい環境です。

先輩からのメッセージ

意思伝達装置やスイッチの調整など、患者さんの有する能力をどう活用すれば何ができるのかを考え、実現することが作業療法の魅力の一つだと思います。知識・技術や自分のアイディアを一緒に伸ばしていきたいでしょう。





高松医療センター

対象病期

高度急性期

急性期

回復期



長期療養



対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器



心臓

がん



神経難病



重症心身障害



発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 神経筋疾患を支える難病医療の拠点
- 2 結核を含む呼吸器疾患の専門医療
- 3 高齢者・障害者に優しい医療

当院は、香川県難病医療支援ネットワークの拠点病院です。地域を支える病院として、神経筋疾患分野の難病医療、結核を含む呼吸器疾患の専門医療、高齢者や障害者にも優しい一般医療の3つを柱に診療を行っています。

リハビリスタッフ



PT 6名



OT 3名



ST 2名

神経難病や呼吸器疾患の患者さんを中心に、在宅復帰を見据えた維持期リハビリテーションを行っています。リハビリスタッフ間はもちろん、多職種との連携も良好で、患者さんに寄り添った支援を大切にしています。(職場長より)

アクセス

〒761-0193

香川県高松市新田町乙8番

☎ 087-841-2146 (代)

リハビリテーション科
理学療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

当院の作業療法では、ALSをはじめ、パーキンソン病、多系統萎縮症、筋ジストロフィーなどの神経筋難病を対象に、ADL訓練、環境調整、意思伝達装置や特殊スイッチを用いたコミュニケーション支援を行っています。LSVT®BIG認定療法士2名が在籍し、患者さん一人ひとりの状態に応じた訓練を実施しています。また、整形疾患や脳血管障害に対する手の機能訓練やADL訓練にも対応し、多職種と連携しながら在宅生活支援を行っています。



教育体制・学術活動

科内で症例検討などの勉強会を定期的実施しています。

県の神経筋難病拠点病院の一つとして、神経筋難病患者さんや地域の医療・介護関係者からの意思伝達装置や自助具に関する相談に対応しています。また、保健所からの依頼による在宅生活支援のための自宅訪問にも対応し、地域連携を推進しています。

多職種連携

入院から退院まで、医師・看護師・地域医療連携室など院内の関係職種と定期的にカンファレンスを実施しています。また、退院前カンファレンスや退院前訪問を通じて、地域スタッフと連携し、在宅生活への円滑な移行を支援しています。

先輩からのメッセージ

神経筋難病の方を担当することが多く、その方の希望や身体機能、病状進行を考えながら、特殊スイッチや意思伝達装置の選定・支援を行っています。難しいと感じることもありますが、先輩OTに相談しながら、病棟スタッフやご家族、そして地域の方々とも一緒に取り組んでいます。





四国こどもとおとなの医療センター

対象病期

高度急性期✓

急性期 ✓

回復期 ✓

長期療養 ✓



対象疾患



脳血管 ✓



運動器 ✓



呼吸器 ✓



心臓 ✓



がん ✓



神経難病 ✓



重症心身障害 ✓



発達障害 ✓



精神科 ✓

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 こどもからおとな、急性期から慢性期まで
- 2 多彩なリハビリに幅広く対応
- 3 心も彩るホスピタルアート

成育医療・成人医療・重症心身障害児（者）医療に対応する複合型病院です。当科では、小児から成人まで、急性期から慢性期まで幅広いリハビリを提供しています。院内を彩る「ホスピタルアート」も見どころです。ぜひホームページをご覧ください。

リハビリスタッフ



PT 15名



OT 6名



ST 6名

“こどももおとなも支える”をテーマに、年齢や疾患を問わず幅広い症例を経験できます。多職種と連携するチーム医療の中で、臨床力と対応力を磨ける環境です。若手職員も安心して成長できる温かな職場です。（職場長より）

アクセス

〒765-8507

香川県善通寺市仙遊町2丁目1-1

☎ 0877-62-1000（代）



リハビリテーション科

理学療法士長・作業療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

小児の発達支援から、脳卒中・整形外科疾患・神経難病患者へのADL訓練、退院支援まで幅広い領域に対応しています。小児リハビリテーションでは、感覚統合や遊びを通じた支援を行い、家族との関わりも大切にしています。成人領域では、在宅復帰を見据えた生活動作訓練や福祉用具の選定、住環境調整まで包括的に支援しています。さらに、多職種と連携し、評価から支援計画の立案、実践まで一貫して経験できる体制が整っています。



教育体制・学術活動

新人1年目には指導者を配置し、マンツーマンでの指導やメンタルサポートを行っています。また、科内勉強会やOT勉強会を通して、気軽に相談・質問できる環境を整えています。職員全体で丁寧で分かりやすい指導を心がけており、希望者には学会発表に向けたサポートも細やかに行っています。

学会発表:令和7年度 0件、令和8年度は3件の学術活動を予定しています。
科内勉強会をはじめとした研修活動を定期的に実施しています。

多職種連携

成人部門では、各科ごとに週1回の多職種カンファレンスを開催し、情報共有を行っています。在宅復帰患者に対しては退院前カンファレンスを実施し、退院後も安心して生活できるよう支援しています。成育部門では、発育・発達に応じた介入を行い、主治医や看護師との合同カンファレンスを実施しています。

先輩からのメッセージ

「四国こどもとおとなの医療センター」は、その名の通り小さなお子さんからご高齢の方まで多くのリハビリテーションを実施しています。対象領域はICUから回復期、運動器や脳血管障害まで幅広いため、多くの知識や高い対応力が求められますが、各領域に精通された先輩方が丁寧に教えてくださるので作業療法士として専門性を向上させるうえでも充実した病院です。院内各所のアートによる楽しくてあたたかな雰囲気はこの病院ならではの魅力だと思います。





国立療養所 大島青松園

対象病期

高度急性期

急性期

回復期

長期療養



対象疾患

脳血管

運動器

呼吸器

心臓

がん

神経難病

重症心身障害

発達障害

精神科

ハンセン後遺症



当院の特徴

- 1 穏やかな環境で寄り添う支援
- 2 多職種で支える高齢者リハ
- 3 歴史を学び、専門性を深める

当園は瀬戸内海に浮かぶ大島に位置するハンセン病療養所です。穏やかな自然環境の中、入所者一人ひとりに寄り添った支援を行っています。多職種と連携し、後遺症や高齢化に伴う身体機能低下、認知症、摂食嚥下障害などに対応し、生活全体を支える包括的なリハビリテーションを実践しています。

アクセス

〒764-0198

香川県高松市庵治町6034-1

☎ 087-871-3131 (代)

リハビリテーション科
副理学療法士長まで



リハビリスタッフ



PT 2名



OT 1名



ST - 名

リハビリ部門は、入所者の皆さんと継続的に関わる中で、疾患や障害特性だけでなく、その方の生活背景や価値観を踏まえた支援を学ぶことができます。落ち着いた環境の中で歴史的背景を有する療養所に特化した役割と、専門性を習得できる職場だと思います。

教育・指導体制の充実を図り、対外研修に参加しやすい環境づくりに取り組んでおり、ワークライフバランスを大切にしたい働きやすさも当園の特徴です。

(職場長より)

作業療法部門

部門紹介

国立療養所大島青松園の作業療法部門では、日常生活動作の支援に加え、創作活動や趣味活動を通した生活支援にも力を入れています。近年は、認知症や摂食嚥下障害など高齢者医療への対応も求められており、多職種と連携しながら支援を行っています。身体・認知機能の維持だけでなく、その人らしい生活や生きがいを大切にした作業療法を実践できる環境です。入所者の平均年齢は88.7歳です（令和8年4月）。



教育体制・学術活動

少人数の職場でもあり、リハビリ部門内の教育・指導体制は整備されています。また、園内外の研修に積極的に参加できる環境作りをすすめています。

学会発表:令和7年度_0件

多職種連携

必要時に他職種（医師・看護師・介護員・メディカルソーシャルワーカーなど）とのカンファレンスが行われます。NSTのメンバーとしても活動しています。

先輩からのメッセージ

入所者の皆さん一人ひとりの生活に寄り添いながらリハビリを実践しています。継続的に関わる中で信頼関係が築かれ「その人らしい暮らし」を支えるやりがいを感じています。穏やかな環境で、多職種と連携しながら成長できる職場です。



せいしょう君

対象病期

高度急性期

急性期 ✓

回復期 ✓

長期療養 ✓



対象疾患



脳血管 ✓



運動器 ✓



呼吸器 ✓

心臓



がん ✓

神経難病

重症心身障害

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 都道府県がん診療連携拠点病院
- 2 がんゲノム医療拠点病院の指定
- 3 がんのリハビリテーション研修を主催

当院は都道府県がん診療連携拠点病院であり、2019年にはがんゲノム医療拠点病院の指定を受けました。また、緩和ケア病棟を併設しており、がん患者さんに急性期から緩和期までの医療を提供できる体制を整えています。さらに、「がんのリハビリテーション研修」を主催する立場にあり、講師やファシリテーターを務めています。

リハビリスタッフ



PT 5 名



OT 1 名



ST 2 名

当科は、主に周術期・進行期から緩和期までの「がんリハビリテーション」を担っています。療法士はもちろん、医師・看護師もがんのリハビリテーション研修を受講できる体制を整えています。診療業務に加え、研究活動にも力を入れています。（職場長より）

アクセス

〒791-0280

愛媛県松山市南梅本甲160番

☎ 089-999-1111（代）

リハビリテーション科
理学療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

四国地方のがん医療における中心的施設として、ナショナルセンターとの連携のもと、高度で専門的な医療、臨床研究、教育研修および情報発信の機能を備えています。リハビリテーション部門では、臨床研究や解析、その成果の臨床への還元を通じて、より多くのがん患者さんのQOL向上に寄与すべく、日々診療に取り組んでいます。作業療法では、乳がん、頭頸部がん、骨転移、脳転移、がんの転移による末梢神経障害、リンパ浮腫など、多岐にわたって対応をしています。



教育体制・学術活動

新入職時の院内新人教育研修や、がんのリハビリテーション研修会への参加、週1回の骨軟部腫瘍・整形外科およびリハビリテーション科主催の論文抄読会のほか、院内勉強会も随時開催されています。

学会発表:令和7年度 0件

「乳がん術後患者の身体活動やQOLに関する実態調査」や「AMED乳がん術後の外来リハビリテーションに関するランダム化比較試験」などの研究活動に加え、がんのリハビリテーションに関する研修会で講師を務めています。

多職種連携

リハビリテーション科医師、看護師、療法士によるカンファレンスを毎日、乳腺外科医師、看護師、作業療法士で行う回診を週1回、形成外科医師、看護師、療法士によるリンパ浮腫ミーティングを月1回実施し、リハビリテーション介入前、介入中の状態把握、未介入の方について、リハビリテーションの必要性などを検討、共有しています。

先輩からのメッセージ

人は、がんに罹患すると、がんの浸潤によって体力が消耗しやすい状態になります。そこに手術、化学療法など侵襲性の高い治療をすることで、容易にADLやQOLの低下をきたします。

当院のがんのリハビリテーションは、エビデンスをもとに、より効果的な介入を図り、その人らしい生き方を過ごすお手伝いをすることを目指しております。



対象病期

高度急性期

急性期



回復期



長期療養



対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器



心臓



がん



神経難病



重症心身障害



発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 結核、重症心身障害、神経難病の対応
- 2 小児から成人まで幅広い支援
- 3 地域を支える救急・急性期医療

政策医療と地域医療を2本柱としています。結核、重症心身障害、神経難病の専門医療施設として県内全域から患者さんを受け入れているほか、ポストNICU病床を設け、小児医療にも取り組んでいます。地域医療では、周辺地域の急性期医療や内部障害・神経・運動器疾患のリハビリテーション、生活習慣病対策にも力を入れています。

リハビリスタッフ



PT 9名



OT 4名



ST 3名

当科の対象疾患は、運動器・脳血管・呼吸・循環・障害児者など多岐に亘っており、技術の研鑽だけでなく、学会発表や各領域の勉強会・研修会への参加等の学術活動、各資格取得などを奨励しています。これらに対して、医師からのバックアップも充実しています。
(職場長より)

アクセス

〒791-0281

愛媛県東温市横河原366番地

☎ 089-964-2411 (代)

リハビリテーション科
理学療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

当院の作業療法は、一般病棟において神経難病や上肢疾患、呼吸器・循環器疾患など幅広い患者さんに対し、機能訓練や生活支援（自助具の提案、ADL・IADL指導）、メンタルケアを行っています。重症心身障害児者病棟では、ポジショニングや遊びを通じた関わりを実践し、ポストNICU病棟では、ご家族とともにお子さんの将来を見据えた支援に取り組んでいます。また、結核などの感染症患者さんに対する作業療法も実施しており、廃用予防やメンタルケア、退院後の生活指導を行っています。



教育体制・学術活動

新人教育プログラムをもとに“気づき”や“考え方”の幅を広げることを重視しています。さまざまな視点から患者像を捉えられるよう、OTのみならずPT・STとも密にコミュニケーションを図り、リハビリテーションスタッフ全体で指導・助言を行っています。また、リハ科内で月1回勉強会を開催し、臨床業務に関する知識の習得に努めています。

学会発表: 令和7年度 0件

さまざまな学会での発表をはじめ、保健所での神経難病に関する講演会や、東温市で開催される健康フォーラム、親子医療体験学習など、院内外で学術・講演活動を行っています。また、国立病院総合医学会にも参加しています。

多職種連携

各診療科で定期的に、医師・看護師・ソーシャルワーカー・療育指導士・保育士などの多職種によるカンファレンスを実施しています。また、呼吸、栄養、糖尿病などのさまざまなサポートチームにリハビリテーションスタッフが所属し、患者さんへの支援や勉強会を通じての多職種連携を図っています。

先輩からのメッセージ

スタッフ皆和やかで相談などが気軽にできる環境にあり、育児や介護休暇などの長期休業にも、迅速に人員補充をしてくれるなど、お互い気持ちよく仕事ができます。また急性期～維持期まで幅広く関われ、様々な疾患の患者さんに携わることができるのも魅力の一つです。その他にも感染対策や医療安全に対して他部門と協力し、対策に力を入れています。





高知病院

対象病期

高度急性期

急性期 ✓

回復期

長期療養 ✓



対象疾患

脳血管



運動器 ✓



呼吸器 ✓

心臓



がん ✓

神経難病



重症心身障害 ✓

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 呼吸器センターで包括的医療を実践
- 2 呼吸器・整形・がん・重心に対応
- 3 人工関節・骨折術後を早期から支援

主に呼吸器疾患、整形疾患、がん、重症心身障害の患者さんを対象にリハビリテーションを行っています。呼吸器分野では、平成23年8月に呼吸器センターを設立し、医師をはじめ多職種と連携した包括的な診療を実践しています。整形疾患では、人工関節置換術や骨接合術後の患者さんに対し、早期リハビリテーションを提供しています。

リハビリスタッフ



PT 9名



OT 3名



ST 2名

「患者さんへ最善のリハビリテーション医療を」を理念に、一人ひとりが患者さんに寄り添い質の高いリハビリテーションを提供しています。地域の急性期医療に加えて、結核医療や重症心身障害のセーフティネット医療にも対応しています。（職場長より）

アクセス

〒780-8507

高知県高知市朝倉西町1-2-25

☎ 088-844-3111 (代)

リハビリテーション科
理学療法士長まで



作業療法部門

部門紹介

当院の作業療法では、主に整形疾患（肩関節疾患など）、呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患・間質性肺炎・肺がんなど）、重症心身障害児者（発達支援を含む）を対象としたリハビリテーションを行っています。特に当院では肩関節疾患の患者さんが多く、関節鏡下肩腱板断裂手術やリバース型人工関節置換術後のリハビリテーションに関わる機会が豊富です。作業療法ならではのADL指導や機能訓練を実践しています。



教育体制・学術活動

新人教育プログラムに基づく卒後教育や臨床業務への支援に加え、認定作業療法士、3学会合同呼吸療法認定士、公認心理師、MTDLP指導者などの資格を有するスタッフが在籍しています。資格取得や学会発表など、学術活動への支援体制も整っています。

学会発表:令和7年度_4件

高知県作業療法学会、高知県整形外科集談会、国立病院総合医学会、四国作業療法学会（発表テーマ）

「リバース型人工肩関節置換術における臨床的有益性の最小変化量MCIDについて」

「リバース型人工肩関節置換術における早期訓練と術後成績について」等

各学会、研究会などからの講師依頼にスタッフの派遣を行っています

多職種連携

入院から退院までの間に、定期的に多職種（医師・看護師・メディカルソーシャルワーカーなど）によるカンファレンスを実施しています。また、在宅医療に関わる職種（訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーションなど）と退院前カンファレンスや退院支援を行い、地域医療との連携を深めていることも特徴です。

先輩からのメッセージ

日々の業務サポートに加え、研究や講習会、院内研修など「学びたい!」という気持ちを全力で応援しており、自分のペースでスキルアップできる環境が整っています。また、育児時間制度の活用や勤務調整など、男女問わず子育てを支え合える体制も充実しており、ワークライフバランスを大切にしながら、安心して働ける環境が整っています。「ここで成長したい」「楽しく働きたい」そんな思いをお持ちのあなたを、心から歓迎します。

